

# わかりやすい 子宮頸がんワクチンの話

産婦人科医 中川フェールベルク美智子

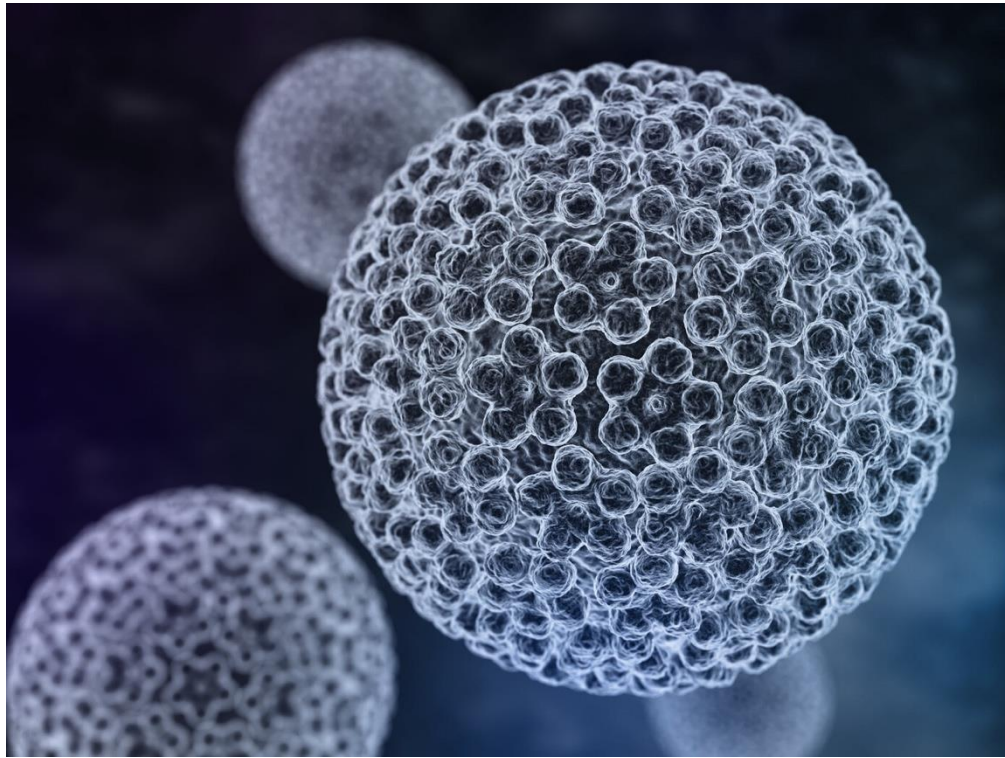
JMSNETドイツ オンライン健康セミナー

2025年3月30日

# 子宮頸がんワクチンとは

- ▶ 子宮頸がんの99%以上に ヒューマンパピローマウイルス (HPV)が検出される。
- ▶ HPVに対する予防接種
- ▶ 対象 (STIKOの推奨)
- ▶ 9歳から17歳までの男女
- ▶ 9 – 14歳の場合 2回接種 6か月以上1年未満の間において
- ▶ 15 – 17歳の場合 3回接種 2回目接種が2か月後  
3回目はさらに4か月後

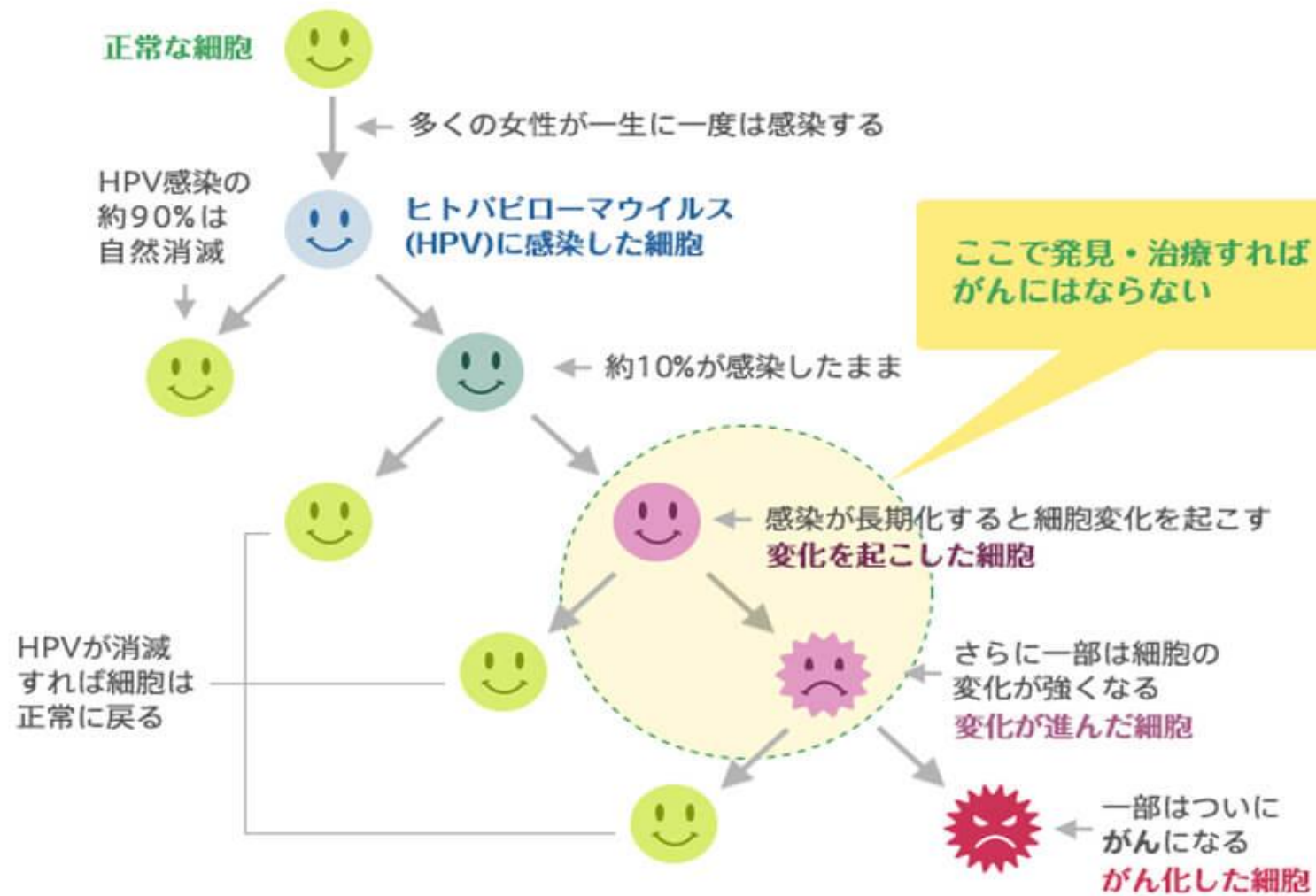
# ヒューマンパピロマウイルス

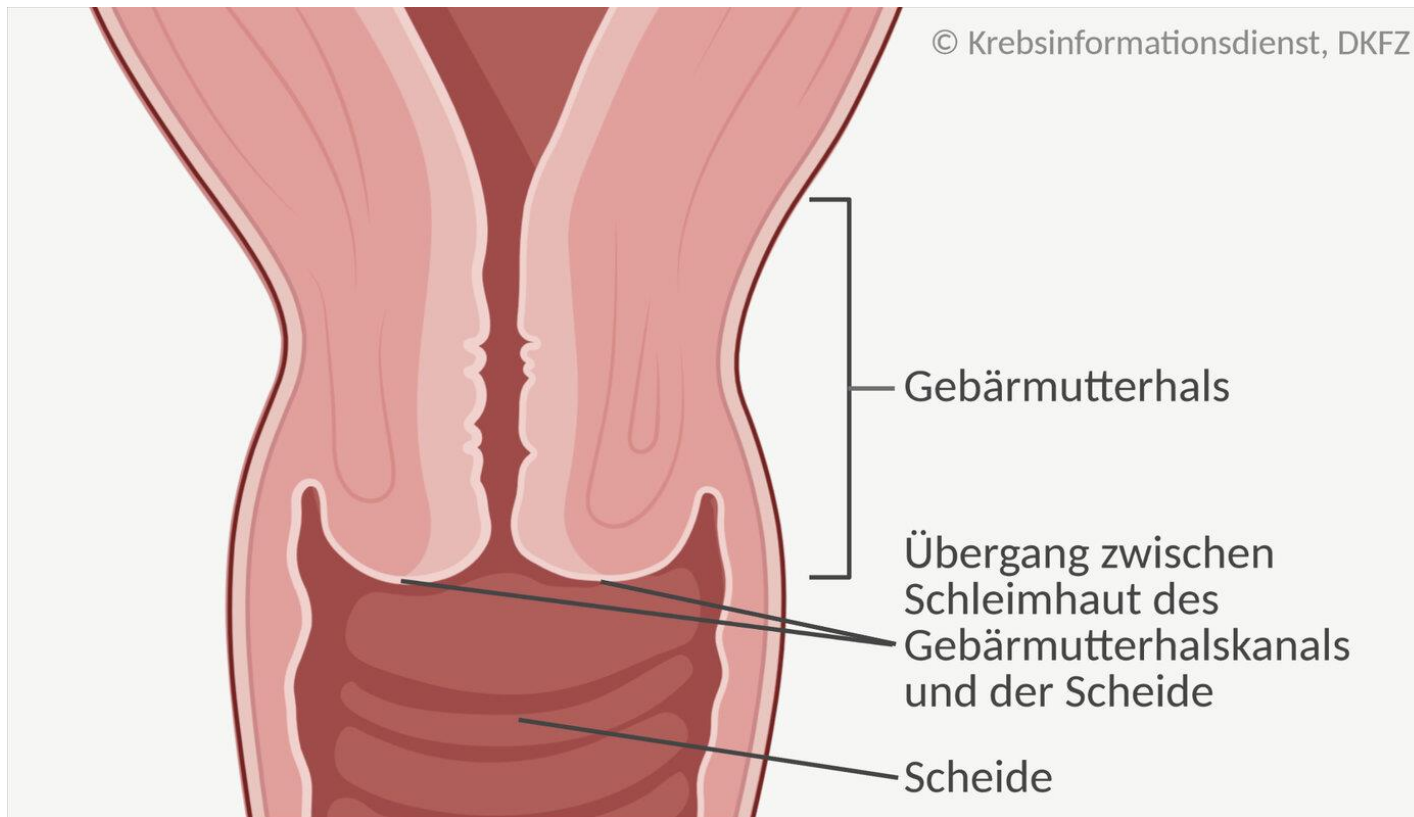


# ヒューマンパピローマウイルス (HPV)

- ▶ 200以上の種類 (型)
- ▶ ヒトの細胞の中に入り増殖する。
- ▶ ほとんどの人が一生の間に感染し 自然治癒している。
- ▶ 接触による感染。
- ▶ 粘膜に感染が主で ごく一部に持続感染の状態から 長い時間をかけて癌に。
- ▶ 子宮頸がん、陰部がん、肛門癌、咽頭癌、
- ▶ 良性の病変としては いぼ、コンジローム。

# HPV感染





# HPV感染と子宮頸癌

ハイリスク型HPV 持続感染によりその一部が癌を発生させる。

16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 68, 73, 82.

殊に 16型と18型が 子宮頸がんの70%

31, 33, 45, 52, 58型で20%

ローリスク型HPV コンジロームの原因 6, 11型

予防接種

Cervarix (16, 18)

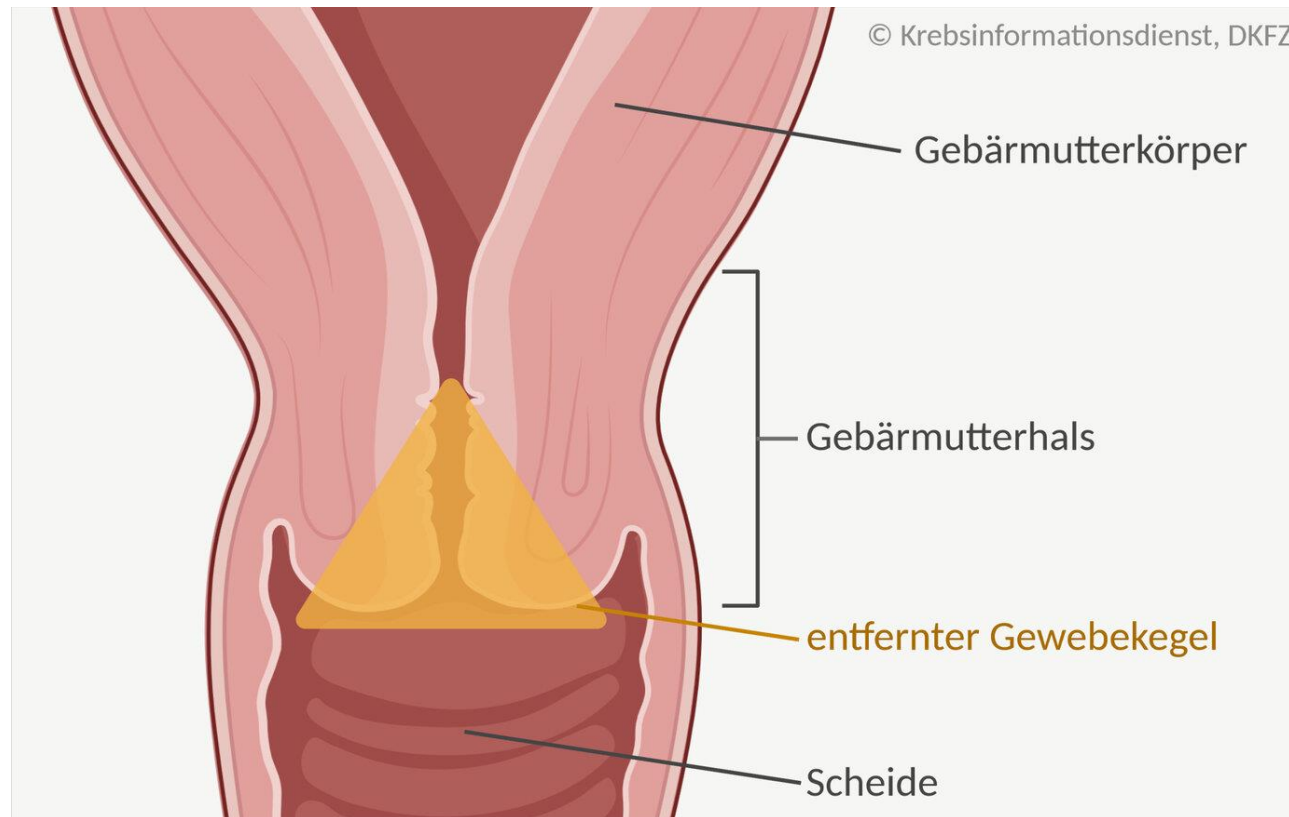
Gardasil 9 (16, 18, 31, 33, 45, 52, 58, 6, 11)

# 子宮頸癌

- ▶ 年間 4600人の婦人が罹患 1600人が死亡
- ▶ 40代 50代に多く 前癌状態は 20代30代。
- ▶ 癌の5年以上の生存率は64%
  
- ▶ 前癌状態での円錐切除手術は 年間5600人
- ▶ ところがその後の再発が 100人の手術に対して 8人
- ▶ もし予防接種をすれば 術後再発は 3人
  
- ▶ 予防接種をしていない人で
- ▶ 定期的に健診を受けている場合 1000人に1人が癌発生
- ▶ 健診を受けていない場合 1000人に30人が癌発生



# 子宮頸部円錐切除



# 婦人科検診

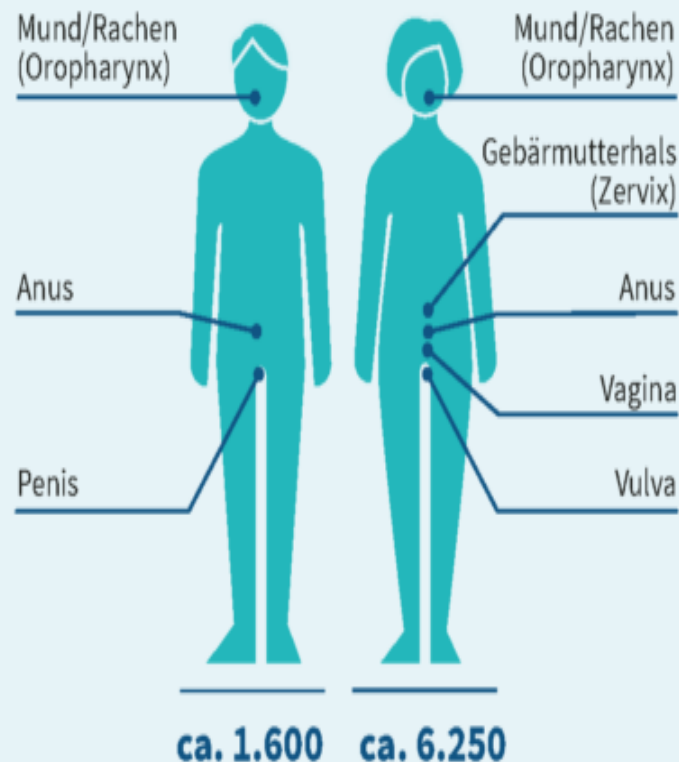
- ▶ 子宮頸部の細胞診 子宮頸がんの検査
- ▶ 年に一度 20歳から
- ▶ 35歳からは PAP細胞診+HPV検査 ただし両方に問題なければ3年毎
- ▶ 30歳から 乳房触診
- ▶ 50歳から 2年毎のマンモグラフィーで 乳がん検査 75歳まで。



## Wovor schützt die Impfung?

### HPV-bedingte Krebserkrankungen

(Fälle in Deutschland pro Jahr)



### Schutzwirkung der Impfung vor dem ersten Sexualkontakt

Schutzwirkung der Impfung gegen Vorstufen von Gebärmutterhalskrebs (CIN3+)

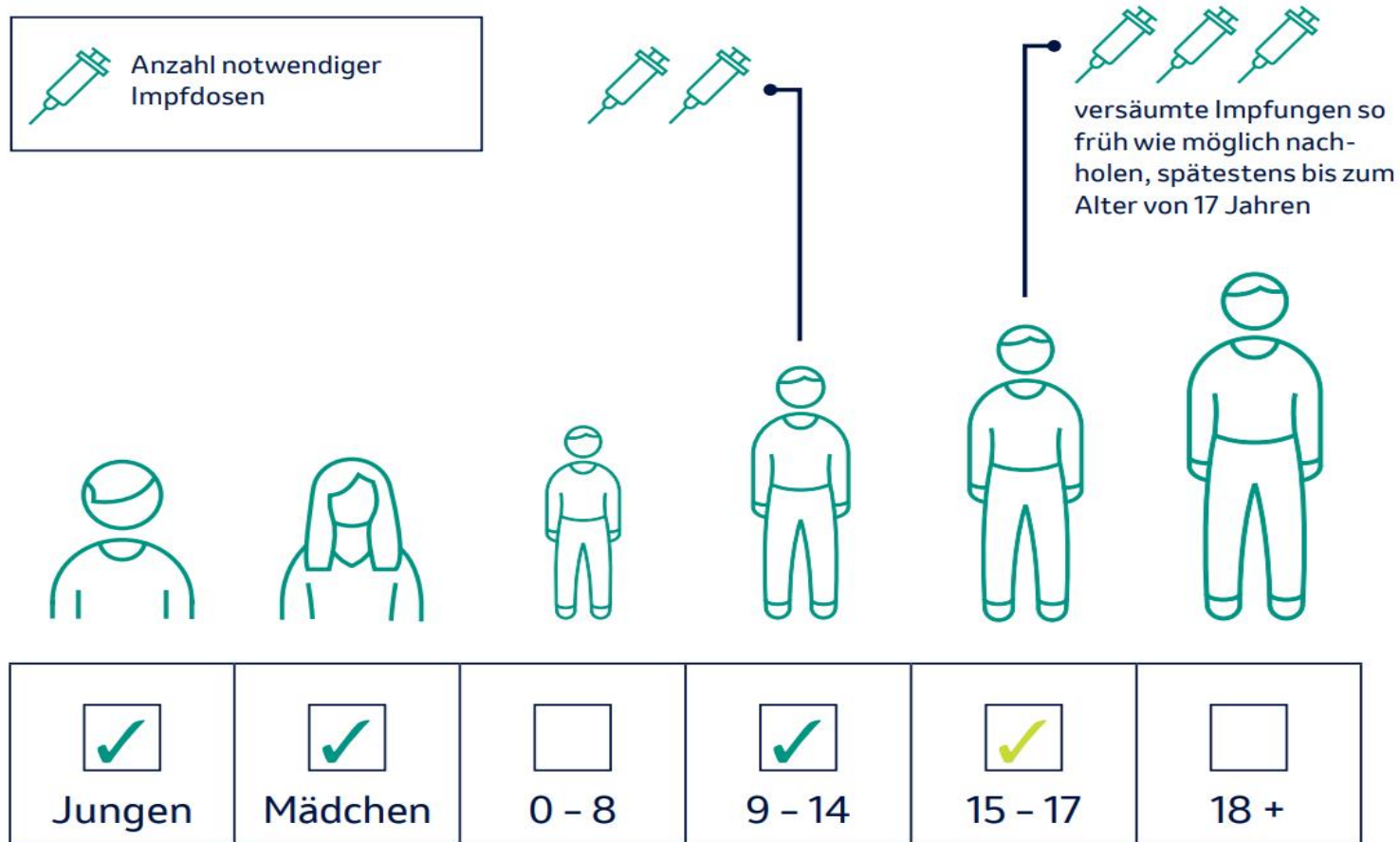


Schutzwirkung der Impfung gegen Krebsvorstufen im Analbereich (AIN2)



- ❗ HPV-Infektionen verursachen Krebs.
- ❗ HPV infizieren sowohl Frauen als auch Männer, oftmals bereits beim ersten Sexualkontakt.
- ❗ An HPV-bedingtem Gebärmutterhalskrebs erkranken hauptsächlich jüngere Frauen zwischen 35 und 59 Jahren.
- ❗ Bei Männern verursachen HPV vor allem Tumore im Mund-, Rachen-, Genital- und Analbereich.

# HPV予防接種の対象と方法



ご清聴ありがとうございました。